

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】		大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	生涯学習
アカデミー推進計画における分野	1 生涯学習				
分野別の目標	1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実				
1 現状と課題					
<p>① 区民一人ひとりのニーズに対応できる学習機会を提供・充実させることが求められています。</p> <p>② 学習や活動のための場所の確保や充実に努めることが求められています。</p> <p>③ だれでもが学習や活動ができるような配慮や仕組みづくりを進めることが求められています。</p> <p>④ 学習の場所として図書館の機能を充実させることが求められています。</p>					
2 基本的な方向・事業実績					取組状況結果資料ページ
(1) 多様な講座や学習機会の提供・充実					1～2
(2) 学習や活動ができる環境の提供					2～3
(3) だれでもが学習・活動しやすい仕組みづくり					3
(4) さまざまな学習活動を支援する区立図書館づくり					4
3 数値事業例（業務事業評価対象事業）					
(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な方向	(再掲)	
(1)	大学連携推進協議会の検討	B	(2)		
(2)	生涯学習一日体験フェア	A	(1)		
(4)	大学・企業等との協働の推進	B	(1)	生涯学習3-(4)	
(5)	文京アカデミア講座	B	(1)	生涯学習3-(2),(3)	
4 分野別評価					
<p>・多様な内容の講座を実施している点について評価できる。今後は、講座の実施時間帯等を適時見直し、より多くの人々が参加できるよう検討されたい。</p> <p>・大学連携については、大学と区がある程度裁量を持って事業を実施できるような制度の整備が課題である。また、学生や研究者のもつ知的資源の効果的な活用や大学担当部署への積極的な働きかけを行い、相互にとって持続可能な連携事業のあり方を検討されたい。</p> <p>・アンケート結果や意見をできる限り反映し、事業現場でPDCAサイクルが実現できるよう努められたい。</p>					

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	生涯学習
-----------------------	-----	--------------	-----	------

アカデミー推進 計画における分野	1 生涯学習
分野別の目標	2 一人ひとりの学習や活動を支えるための情報提供、相談体制の整備・充実

1 現状と課題	
<p>① 区民のさまざまな学習や活動のニーズを満たすことのできる情報の収集・整理が求められています。</p> <p>② 収集した情報を分かりやすく、入手しやすい方法で提供することが求められています。</p> <p>③ 区民が気軽に相談できる機会と場が求められています。</p> <p>④ 情報提供において、各地域にある図書館が拠点となることが求められています。</p>	

2 基本的な方向・事業実績	取組状況結果資料ページ
(1) 学習情報の収集・整理	5
(2) 分かりやすい情報提供	5
(3) 相談体制の整備・充実	5
(4) 地域における情報拠点となる区立図書館づくり	6

3 数値事業例（事務事業評価対象事業）				
(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な 方向	(再掲)
(6)	生涯学習情報の一元化及び相談拠点の整備	B	(3)	
(7)	図書館資料へのICタグ整備	B	(4)	

4 分野別評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌スクエアについては、デザインや色味に工夫が見られ、視覚的に非常に分かりやすい。今後とも魅力的な紙面づくりに努められたい。 ・ 生涯学習情報を俯瞰的に捉えることができる情報発信づくりを強く要望する。また、既存の情報発信媒体を効果的にリンクさせることで、情報の一元化を図られたい。 ・ 積極的な情報発信を行い、講座等への潜在的なニーズを持った区民にも情報が行き届くよう工夫されたい。 ・ 生涯学習の相談面は事業として弱い。生涯学習に精通した人材を積極的に活用し、窓口での人的な対応を充実されたい。 ・ 図書館のICタグについては、費用対効果などの課題事項について今後とも検討されたい。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	生涯学習
-----------------------	-----	--------------	-----	------

アカデミー推進 計画における分野	1 生涯学習
---------------------	--------

分野別の目標	3 区民・団体の主体的な活動の支援
--------	-------------------

1 現状と課題

- ① 区民の主体的な学習や活動を支えるための仕組みづくりが求められています。
- ② 生涯学習活動をより活性化させるため、学習や活動の成果を披露する場の充実が求められています。
- ③ 生涯学習司や地域文化インタープリターなど、区独自の資格制度による人材の育成と活用が求められています。
- ④ 地域に存在する学習・活動経験者の知識等を区民又は学習する人に還元できるよう、人材活用の推進が求められています。

2 基本的な方向・事業実績	取組状況結果資料ページ
(1) 主体的な活動を支える仕組みづくり	6
(2) 活動成果披露の場の充実	6
(3) 人材育成の推進	7
(4) 人材活用の推進	8

3 数値事業例（事務事業評価対象事業）

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な方向	(再掲)
(2)	生涯学習一日体験フェア	A	(3)	生涯学習1-(1)
(3)	生涯学習支援者の育成・活用	B	(3)	
(5)	文京アカデミア講座	B	(2)	

4 分野別評価

- ・一定の知識を習得した人材（生涯学習司）を相談窓口配置する等、その経験や知識が区民に還元される工夫が必要である。
- ・生涯学習に限らず、各事業分野において地域の担い手の後継不足が課題となっている。人材育成・活用がこれからも継続して実施していけるよう研究されたい。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 〔基本構想上の位置付け〕	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	スポーツ振興
-----------------------	-----	--------------	-----	--------

アカデミー推進 計画における分野	2 スポーツ
分野別の目標	1 スポーツのきっかけづくり

1 現状と課題

- ① 区内の各種スポーツ機会や施設等の情報を分かりやすく提供するとともに、スポーツに関わるさまざまな相談・問い合わせ等に対応することが求められています。
- ② 区民の多様なライフスタイルを踏まえて、日頃スポーツをしていない人がスポーツをはじめのきっかけとなるような情報の発信や手軽にスポーツに親しめる機会を充実させることが求められています。

2 基本的な方向・事業実績

取組状況結果資料ページ	
(1) スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備	9
(2) スポーツへ参加する機会の提供	9

3 数値事業例（業務事業評価対象事業）

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な方向	(再掲)
(14)	2013年東京国体開催準備	B	(2)	

4 分野別評価

- ・スポーツ関連の情報については、区民の誰もが、いつでも必要な時に、必要な情報を手軽に入手できるような方策を検討すべき。
- ・スポーツに限らず、文化、生涯学習等の膨大な情報を全て、行政が収集・整理・発信するには無理がある。今後は、区民や大学等との連携・協働により、ITを有効活用した簡易で効果的な方策を検討すべき。
- ・障害者スポーツの普及振興を図るため、より一層、関係各課や関係団体等との連携・協力体制を推進する必要がある。
- ・スポーツを通じた区民の健康・体力づくりをより一層推進していくためにも、医療や介護等、保健衛生、福祉分野との連携・協力体制を構築すべきである。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】		大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	スポーツ振興
アカデミー推進 計画における分野	2 スポーツ				
分野別の目標	2 スポーツを楽しむ環境づくり				
1 現状と課題					
<p>① 区立スポーツ施設の使いやすさをより一層高めるとともに、「スポーツ交流ひろば」のように身近な場所で気軽にスポーツが楽しめる場として、さらに区内のスポーツ資源の有効活用を図ることが求められています。</p> <p>② 子ども、勤労者、妊婦、高齢者、障害者など、ライフステージや、ライフスタイル、体力等を踏まえて、健康づくりやスポーツを楽しむためのさまざまな支援や配慮、対象者のニーズに応えた、多様なプログラムを提供することが求められています。</p> <p>③ スポーツを楽しむことに加え、技術レベルの向上等を目指す区民のために、競技力の向上を支える仕組みづくりが求められています。</p> <p>④ 既存のスポーツ団体の活動を活性化するために、関係団体との連携強化を図ることが求められています。</p>					
2 基本的な方向・事業実績					取組状況結果資料ページ
(1) スポーツ施設の整備・充実					9
(2) 既存施設等の利活用					10
(3) 多様なニーズに対応するプログラムの提供					10～11
(4) スポーツを通じた地域交流の活性化					11
3 数値事業例（事務事業評価対象事業）					
(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な方向	(再掲)	
(9)	こどもひろば（校庭開放）の自主運営委員会化の推進	A	(2)		
(10)	スポーツ交流ひろば（スポーツ開放）の運営委員会化の推進	A	(2)		
(13)	（仮称）新総合体育館の整備	A	(1)		
4 分野別評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の充実等、より一層、ハード面の整備が求められる中、新総合体育館の開設や小石川運動場のリニューアルオープン等、スポーツ施設整備が行われたことは評価できる。 ・文京区のスポーツ施設は、他の自治体と比較しても、たいへん稼働率が高いことから、区の新規事業や指定管理者の自主事業等、新たな事業展開が困難である。 ・区民がいつでもどこでも手軽に親しめる地域スポーツの普及振興のためには、学校施設の有効活用が必要であり、教育委員会や学校には、地域に開かれた学校施設開放について、より一層の理解を求めることが必要。 ・スポーツ交流ひろば（学校開放）を円滑に推進していくためには、運営に携わる区民と学校側とのコミュニケーションが不足していると思われる。今後は、十分なコミュニケーションが図れる方策を検討すべき。 ・より一層、区民のライフスタイル・ライフステージに応じた幅広いプログラムの提供を検討する必要がある。 					

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	スポーツ振興
-----------------------	-----	--------------	-----	--------

アカデミー推進 計画における分野	2 スポーツ
---------------------	--------

分野別の目標	3 スポーツ観戦の魅力向上
--------	---------------

1 現状と課題

① 貴重なスポーツ資源であるプロスポーツ等団体や施設などが、「スポーツ観戦」という観点から相互に連携・協力して、区内におけるスポーツ振興を図ることが求められています。
 ② プロスポーツ等団体をはじめ、学校や地域のクラブチームなどの試合観戦や地元チームの応援、練習風景の見学などができるような仕組みや機会づくりが求められています。

2 基本的な方向・事業実績

基本的な方向・事業実績	取組状況結果資料ページ
(1) プロスポーツ等団体との連携・協力	12
(2) スポーツ観戦機会の拡充	12

3 数値事業例（義務事業評価対象事業）

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な方向	(再掲)
(11)	スポーツ団体等協働事業	A	(1)	

4 分野別評価

- ・(公財) サッカー協会や読売巨人軍等、日本を代表するスポーツ団体等と連携協力した様々なスポーツ振興協働事業を展開は高く評価できる。
- ・(公財) サッカー協会や読売巨人軍をはじめ、区内大学やプロスポーツ団体等との連携を推進し、より一層、協働によるスポーツ振興事業の展開が必要である。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	スポーツ振興
-----------------------	-----	--------------	-----	--------

アカデミー推進 計画における分野	2 スポーツ
分野別の目標	4 スポーツ指導者の育成

1 現状と課題

- ① 若手スポーツ指導者の育成や地域におけるスポーツの人的資源の活用を図り、さまざまな種目において多くの指導者を確保することが求められています。
- ② スポーツ人口の底辺を拡大するために、行政と関係スポーツ団体等との連携・協力体制を構築し、技術の向上だけでなくスポーツを通じて人間性を高めるなど、より一層、指導力を強化することが求められています。

2 基本的な方向・事業実績	取組状況結果資料ページ
(1) スポーツ指導者等の育成と確保	12
(2) スポーツ指導者の技術等の強化	13

3 数値事業例（義務事業評価対象事業）

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な方向	(再掲)
(10)	スポーツ交流ひろば（スポーツ開放）の運営委員会化の推進	A	(2)	スポーツ2-(2)
(15)	スポーツ指導者の育成と活用	B	(1)	

4 分野別評価

- ・スポーツ交流ひろば（学校開放）をはじめ、スポーツ指導者の高齢化が顕著であり、また、指導を行う担い手が不足していることから、特定のスポーツ指導者（スポーツ推進委員等）の負担が大きくなってきている。
- ・地域スポーツの普及振興に携わる様々なスポーツ指導者の役割や制度等が十分に区民に理解されていない。新たなスポーツ指導者の発掘のためにも、区民に対しての効果的な広報PR等を検討し、実施する必要がある。
- ・指導者には、実技のみならず、地域との連絡調整能力やマネジメント能力が求られている。今後は、指導者のさらなるスキルアップを図るための方策を検討、実践することが必要である。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 〔基本構想上の位置付け〕	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	文化振興
-----------------------	-----	--------------	-----	------

アカデミー推進 計画における分野	3 文化芸術
分野別の目標	1 だれもが文化芸術に親しむことのできる機会の充実

1 現状と課題

- ① 鑑賞する機会を充実させることが、文化芸術の振興において重要な鍵となります。
- ② 文化芸術活動を楽しむ区民のさまざまなニーズに対応するために、参加の機会を増やすことが求められています。
- ③ 区内にあるさまざまな歴史的資源にふれるなど、地域の伝統や歴史に親しむ機会を増加させることが求められています。
- ④ さまざまな状況にある人が、文化芸術活動に親しめるようにしていくことが求められています。

2 基本的な方向・事業実績

	取組状況結果資料ページ
(1) 鑑賞の機会と場所の提供・充実	14
(2) 参加・創造・成果披露の機会と場所の提供・充実	16
(3) 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実	18
(4) だれもが鑑賞・参加しやすい仕組みづくり	19

3 数値事業例（事務事業評価対象事業）

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な 方向	(再掲)
(17)	(仮称) 森鷗外記念館の整備	A	(3)	
(18)	アウトリーチ事業の実施	A	(1)	
(19)	シビックホールでの文化芸術振興事業の実施	A	(2)	
(20)	文化祭／各種発表会／若手芸術家支援	A	(1)	

4 分野別評価

- ・シビックホール等の文化資源や著名オーケストラとの事業提携を活用した多様な文化振興事業が実施されている点について、大いに評価できる。
- ・事業ごとのアンケートを活用した原因分析を行い、今後の文化振興に努められたい。
- ・文化祭やミュージックフェスタをはじめとする芸術事業について、出展者数や来場者数等が減少傾向にあると言える。広報・周知活動、環境の整備等を工夫されたい。
- ・様々な分野が連携した相互横断的な事業を新たに実施することで、これまで関心が薄かった分野に対する個人の関心を引き出し、文化芸術事業への新規参加者を増やすことができるのではないか。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	文化振興
-----------------------	-----	--------------	-----	------

アカデミー推進 計画における分野	3 文化芸術
分野別の目標	2 文化芸術活動を豊かにするための情報提供、相談体制の整備・充実

1 現状と課題

- ① 区民に役立つ幅広い情報を提供するため、本区の文化芸術活動に関わっているさまざまな機関が実施しているイベントや文化芸術に関する講座の情報を収集し、一元管理していくことが求められています。
- ② 幅広い世代にとって分かりやすく、取得しやすい情報提供が求められています。
- ③ 文化芸術活動に関連する区民のさまざまな疑問や悩みに対応できるよう、相談体制を充実していくことが求められています。

2 基本的な方向・事業実績

	取組状況結果資料ページ
(1) 文化芸術関連の情報収集・整理	19
(2) 分かりやすい情報提供と幅広い情報発信	19
(3) 相談体制の整備・充実	20

3 数値事業例（事務事業評価対象事業）

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な方向	(再掲)
	該当なし			

4 分野別評価

- ・ 広報誌スクエアについては、デザインや色味に工夫が見られ、視覚的に非常に分かりやすい。
- ・ 個々の事業が充実していることは大いに評価できるが、それらを俯瞰的に参照できるような情報提供の仕方が望ましい。
- ・ 文化芸術に関する情報提供体制・相談体制が非常に脆弱であると言える。各種関連団体や大学等と連携し、多彩なネットワーク構築に努められたい。
- ・ 情報提供の一環として臨時の相談窓口を設けるなど、参加者の悩みや疑問についていつでも対応できるような相談体制の充実に努められたい。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	文化振興
-----------------------	-----	--------------	-----	------

アカデミー推進 計画における分野	3 文化芸術
---------------------	--------

分野別の目標	3 「文の京」の文化や歴史を未来に伝える仕組みづくり
--------	----------------------------

1 現状と課題

- ① 文化芸術活動を楽しむ人々を増やし、裾野を広げながら活性化していくことが求められています。
- ② 文化芸術活動に携わっている人や団体を支援して、活動者の増加を促していくことが求められています。
- ③ 本区の伝統や文化、その他文化芸術分野について教え、継承していくことのできる人材の育成が求められています。
- ④ 育成した人材や地域に存在する人材を活用し、経験や知識を地域に還元していくことが求められています。
- ⑤ 区内に存在するさまざまな歴史的・文化的な資源の発掘と保存を進めていくことが求められています。

2 基本的な方向・事業実績

	取組状況結果資料ページ
(1) “楽しむ人”づくりの推進	20～21
(2) “活動する人・団体”への支援	21
(3) “伝える人”の育成と発掘の推進	21
(4) 人材活用の推進	22
(5) 文化的な資源の発掘と保存の推進	22

3 数値事業例（事務事業評価対象事業）

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な方向	(再掲)
(16)	映像資料の調査・保存事業	B	(5)	

4 分野別評価

- ・映像資料の調査・保存事業については、事業開始から3年が経過し一定の成果を得られているが、区民等との協働や、より効果的かつ新しい周知方法を模索することによって、文化的な資源のさらなる掘り起しに努められたい。
- ・歴史・文化的資源の発掘・保存に関して、個人に対する既存の周知方法に加えて、区内の大学・町会・各種連合会等を巻き込んだアプローチを行う必要がある。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	観光
-----------------------	-----	--------------	-----	----

アカデミー推進 計画における分野	4 観光
分野別の目標	1 まちあるきを中心とした資源の発掘・活用・創出

1 現状と課題

- ① 既存の観光資源の周知拡大や発掘・創出とともに、その魅力の向上を図ることが求められています。
- ② 本区の資源の魅力をもっと高める観光コースづくりが求められています。
- ③ 本区の特長である大学等の教育機関と美術館・博物館などとの連携を強化していくことが求められています。
- ④ 歴史的・文化的な資源以外にも、本区ならではの「食べる」、「買う」、「体験する」、「交流する」などの魅力も高めていくことが求められています。

2 基本的な方向・事業実績

	取組状況結果資料ページ
(1) 文の京の誇りとなるまちなかの魅力発掘と磨き上げ	23
(2) 文の京を分かりやすく伝えるストーリー性ある観光コースづくり	23
(3) 「学び」の要素と連携した文の京ならではの新しい魅力づくり	23
(4) まちあるきを誘発する「文京ブランド」の構築	23

3 数値事業例（業務事業評価対象事業）

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な 方向	(再掲)
(24)	観光土産品開発支援事業	A	(4)	
(25)	観光ガイド事業の充実	A	(1) (2)	観光4-(1),(3)

4 分野別評価

・ 区の代表行事である各種祭りの実施・助成などを通じて、観光客の誘致や従来の主だった資源のPRはなされていると言える。一方、区の隠れた及び新たな魅力を発掘する事業は不十分であり、文の京ならではの資源発掘という観点から、今後新たな事業の実施を検討されたい。

・ フィルムコミッション事業や文人銘菓事業等を通じた、新たな観光資源の発掘・活用は評価できる。スタンプラリーなど、区外の方も気軽に参加できるような取り組みがあるのは非常によい。

・ 区内最先端医療科学や大規模病院施設を活かしたメディカルツーリズムや、地域と大学間の相互交流の強化等を通じて、「知の拠点」としての区のイメージや、数多く存在する知的資源等のさらなる活用を図ることが望ましい。

・ まちあるき等は人気ある観光施策であり、文京区の事業も好ましい企画ではあるが、歴史・文化的な側面を持つ事業が多く、参加者の年齢層が中高年に集中している。今後は、文京観光分野において若者の集客につながるような若者の興味・関心をひく参加型企画が増えることを期待する。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	観光
-----------------------	-----	--------------	-----	----

アカデミー推進 計画における分野	4 観光
---------------------	------

分野別の目標	2 まちあるきや交流のための環境づくり
--------	---------------------

1 現状と課題

- ① 来訪者を迎え入れるにあたり、安全・安心であること、バリアフリー化したやさしいまちであるとともに、緑や情緒あるまちなみなどの多様な景観の維持や保全が求められています。
- ② 区内を横断的に移動できる手段やわかりやすい案内の提供などを進めていくことが求められています。
- ③ 区民と区民、区民と来訪者の交流を促進し、本区の資源や暮らしの魅力をより身近に感じられるような機会づくりが求められますが、その際には観光資源の近くに住む区民の日常生活への配慮も求められています。
- ④ まちあるきの人気が高いこと、まちあるきが地域を知る手段として有効なことから、テーマを持ったまちあるきや地域活性化のためのイベントなどを新たに創出していくことが求められています。
- ⑤ 本区に多く立地する大学等と連携し、イベントや学会などの誘致を進めるとともに、参加者・同伴者が本区の魅力を堪能できる仕組みづくりが求められています。

2 基本的な方向・事業実績

基本的な方向・事業実績	取組状況結果資料ページ
(1) 安全・安心でやさしいまちを実現する環境づくりの推進	24
(2) 区内の回遊性を向上させる誘導の仕組みづくり	24
(3) 区民や来訪者の交流充実に向けた環境づくり	24～25
(4) 文の京の魅力を活かすイベントの推進	25
(5) MICEの誘致（アフターコンベンションの充実と誘致）	25
(6) 区民生活に配慮したまちあるきの仕組みづくり	25

3 数値事業例（事務事業評価対象事業）

（番号）	対象事業名	指標達成度	基本的な 方向	（再掲）
(26)	五大まつり等の助成	G	(3) (4)	

4 分野別評価

・文京区は文化資源を区内に多く持つことから、文化的な側面でとらえた観光施策に重きを置いており、その特色や方向性は評価できる。その一方で、産業振興との結びつきが他の自治体に比して弱い側面がある。

・2020年の東京オリンピック開催決定を契機に、海外からの団体を誘致する視点として、区内の著名宿泊施設や大学等を活用したMICEについて具体的に取組まれたい。

・区内19大学との新たな連携事業や協力してのPR等、地域と大学の連携を進めていく中で、文京区の魅力の一つである、多くの歴史ある「教育機関」を新たな観光資源としてPRされたい。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	観光
-----------------------	-----	--------------	-----	----

アカデミー推進 計画における分野	4 観光
---------------------	------

分野別の目標	3 観光まちづくりのための情報発信
--------	-------------------

1 現状と課題

- ① 「文京区」のブランド力や知名度を高めるための効果的な情報発信を積極的に展開していくことが求められています。
- ② 来訪目的に応じた情報発信の充実を図るとともに、区民に対する積極的な情報発信が求められています。
- ③ メディアに対する情報発信を積極的に行うなど、テレビや新聞などに多く取り上げられるようにすることが求められています。
- ④ 情報提供サイト（ホームページ）を通じた情報発信の充実、携帯端末など新たな情報通信技術の活用など、情報発信の手段を多様化していくことが求められています。

2 基本的な方向・事業実績

	取組状況結果資料ページ
(1) 「文京区」の知名度向上へ向けた情報発信の強化	26
(2) ターゲットを明確にした効果的な情報発信の推進	27
(3) メディアの有効活用による「文京区」の積極的なPR	27
(4) 情報通信技術を活用した情報発信の推進	27

3 数値事業例（業務事業評価対象事業）

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な方向	(再掲)
(21)	観光リーフレット作成助成	A	(2)	
(22)	フィルムコミッションによる観光振興	C	(3)	
(23)	観光拠点の整備	C	(1)	

4 分野別評価

- ・ どの駅の利用者が多いのか、どのくらいの人数の観光客が区を訪れているか等、観光ビジョン制定後の観光客に関するデータ分析が不十分である点については、今後の課題である。事業参加者のアンケート等を関連付けた各種データの分析を実施し、現状の把握をされたい。
- ・ 区のホームページ等について、構成が複雑で内容也多岐に渡っている。まず、年度ごとに分析項目を決めるなどして、どのような情報が外部から多く見られているのかを把握することで、今後の観光情報の効果的な発信につなげていく必要がある。
- ・ 外国人の方にホームページやブログ等を使って観光スポットを紹介してもらったり、留学生にメディアレポーターの体験をしてもらうなど、外部の視点や発想に着目して見ること、及び、区が自ら動くのではなく新たな活力と連携することで、文京区の観光施策の新たな方向、見せ方につながると考える。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	観光
-----------------------	-----	--------------	-----	----

アカデミー推進 計画における分野	4 観光
---------------------	------

分野別の目標	4 観光まちづくりのための人材育成と体制づくり
--------	-------------------------

1 現状と課題

- ① 来訪者に対し、区民が本区の魅力をきちんと伝えることができるようにするため、人材の育成や学びの機会づくりが求められています。
- ② 地域で活動する団体・人材の発掘を進めるとともに、区民、商店街、教育機関など区内のさまざまな主体が連携する体制を整えることや、個々の特徴を活かした活躍の場づくりが求められています。
- ③ 区民や事業者、地域活動団体などの観光振興に対する意識を醸成する中で、ホスピタリティを高めることが求められています。
- ④ 区、観光協会、地域活動団体などさまざまな団体が、それぞれ主体的に活動することに加え、組織や地域の枠を超えて協力・連携しながら取り組んでいくことが求められています。

2 基本的な方向・事業実績

基本的な方向・事業実績	取組状況結果資料ページ
(1) 文の京の魅力を伝える人材等の育成	27
(2) 観光まちづくりに携わる団体・人材の発掘と活用	28
(3) 文の京全体としてのホスピタリティの醸成	28
(4) さまざまな主体が連携して取り組む体制づくり	28

3 数値事業例（事務事業評価対象事業）

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な方向	(再掲)
(25)	観光ガイド事業の充実	A	(1) (3)	観光1-(1),(2)

4 分野別評価

- ・ オフィスエリアにおいて在勤者を地域の飲食店に取り込む等、飲食産業と連携した取り組み（フードツーリズム等による食の魅力発信等）をさらに充実されたい。
- ・ パンフレット等の配布場所・方法を工夫し、滞在時間の短い訪区者でも手軽に観光情報が入手できるよう検討する必要がある。
- ・ 観光ガイドの募集が隔年で実施されるため、ガイドの募集のない年度には、PRが停止してしまっている。人員確保の面で、ガイド募集を行わない年であっても事業全体のスケジュールが把握できるようにするなど、ガイド志願者や候補者を多く惹きつけ、取り込めるような案内、PRを研究されたい。
- ・ 区に関する副読本はあるものの、その他に、区内庭園が作成しているような小学生向けの観光ガイドブックを作成するなど、自区の観光資源や文化的な側面に対する理解と「愛区心」を育むような教育を行うことを検討されたい。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	交流
-----------------------	-----	--------------	-----	----

アカデミー推進 計画における分野	5 国際交流
分野別の目標	1 国際理解を進める機会づくり

1 現状と課題

- ① 国際理解に関する各種の講座を、対象とする区民（児童・生徒・学生・社会人等）、テーマ、目標を明確にし、効果的に実施していくことが求められています。
- ② 区内の名所・旧跡など歴史・文化資源をはじめ、本区の魅力を外国人に伝えていくことが求められています。
- ③ 区内の大学の人材や施設を活用しながら、国際理解に関する講座を実施するなど、大学、事業者、国際交流団体等と協働していくことが求められています。

2 基本的な方向・事業実績

	取組状況結果資料ページ
(1) 国際理解の推進	29
(2) 多様な文化を学べる機会の充実	29

3 数個事業例（事務事業評価対象事業）

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な 方向	(再掲)
(27)	国際理解推進事業	A	(1) (2)	

4 分野別評価

- ・ 国際理解を深めるための講座を実施されているが、年数回では開催数が少ない。参加者のアンケート等からニーズを把握した上で、よりバラエティに富む内容となるよう工夫されたい。
- ・ 毎日開放されている観光窓口（観光インフォメーション窓口等）を活用し、国際交流に関する報告や各大学や団体の主催する講座等の情報発信を、日々の窓口業務の中で行っていけるとよい。
- ・ 区内大学で既に実施されている国際理解を推進するための講座を活用するのもよいのではないかと。区内大学等の国際理解講座のうち、文京区として方針に賛同するもの、趣旨を同じくするものの推奨するライセンス（文京区国際認定講座等）の創設などを通じて、知識及び知る機会の情報発信を積極的に行い、区民の国際理解講座受講の全体の機会を拡大させる必要がある。
- ・ 国際理解推進講座や各種交流事業において、区民参加者の意見や視点の事業へのフィードバックの仕組みを整えるうえで、参加者アンケート等を通じた区民ニーズの把握に、より一層努められたい。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 (基本構想上の位置付け)	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	交流
-----------------------	-----	--------------	-----	----

アカデミー推進 計画における分野	5 国際交流
---------------------	--------

分野別の目標	2 国際交流を進める機会づくり
--------	-----------------

1 現状と課題

- ① 国際交流活動に携わりたいと考えているものの、方法がわからないという区民や外国人のために、そのきっかけとなる情報や機会を提供していくことが求められています。
- ② 国際交流に関する事業を区や区民等が主体的に継続して行うため、国際交流団体、区民、大学、事業者等の連携の仕組みをつくることが求められています。
- ③ 国際交流に関心を持つ区民を、国際交流を担う人材として育成・支援することが求められています。
- ④ 区民と外国人とが共に気軽に利用でき、集うことができるスペースを設けることが求められています。
- ⑤ カイザースラウテルン市や海外都市との交流を一層推進するため、区民に交流の内容を広く知らせ、参加を図ることが求められています。

2 基本的な方向・事業実績

2. 基本的な方向・事業実績	取組状況結果資料ページ
(1) 交流の機会の拡充	30
(2) 交流を支える人材の育成及び支援	30
(3) 交流拠点の充実	30
(4) 姉妹都市等、海外都市との交流の活性化	30~31

3 数値事業例(事務事業評価対象事業)

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な方向	(再掲)
(28)	海外都市との交流事業	B	(4)	
(29)	外国人参加型交流事業	A	(1) (2) (3)	国際1-(1),国際3-(2)

4 分野別評価

・カイザースラウテルン市とのホームステイ事業については、一回のホームステイのみに完結するのではなく、ホームステイに参加した生徒のその後の様子がわかるような仕組みを整えることによって、将来の国際交流がより一層活気あるものとなるではないか。具体的には、区のホームページに生徒のエッセイを掲載し、ホームステイに関する振り返りができるようにする／ホームステイを実施した生徒たちの同窓会を設ける等。

・2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、観光分野と国際分野のさらなる連携(観光分野・国際交流分野連携プログラム)が必要ではないか。具体的には、区外からの来訪者や応援団の受け入れ(おもてなし)態勢づくり、練習会場の提供、案内やお世話をするボランティアの確保・充実等。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	交流
-----------------------	-----	--------------	-----	----

アカデミー推進 計画における分野	5 国際交流
分野別の目標	3 外国人が快適に暮らせる環境づくり

1 現状と課題

① 外国人が大きな困難を感じずに日常生活を送ることができるよう、生活関連情報や災害等の非常時における多言語対応を進めることが求められています。
 ② 外国人への日本語習得支援を充実させることが求められています。
 ③ 外国人が、地域において区民との交流や各種の活動を行うことができる機会をつくることが求められています。

2 基本的な方向・事業実績

(1) 外国人の暮らしの支援	31
(2) 地域活動への参加促進	31

3 数値事業例（事務事業評価対象事業）

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な 方向	(再掲)
(29)	外国人参加型交流事業	A	(2)	国際1-(1)

4 分野別評価

・外国人の生活支援は幅広く、多くの切り口があるため、現在は各部署がそれぞれ外国人向けの事業を展開している。具体的には、防災課で実施されている、四か国語防災マップ作成など、個々の取り組みについては評価できる。
 ・外国人に対する生活支援に関して、簡易な外国人相談については現在広報課で実施されているが、より専門的な部署を設置することで、区内に生活するうえでの実際の区民ニーズに合った幅広い生活支援が実現できるのではないかと。
 ・情報発信について、インターネット上には、区内外の様々な団体や国際交流機関のウェブサイトがあるので、それらのリンクを集め、情報を一元化して見つけやすくするなどし、活用の促進を図ることが望ましい。区の国際理解に関する情報のワンストップを実現できるとよい。

平成25年度 アカデミー推進計画進行管理表

政策・施策 (基本構想上の位置付け)	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目
-----------------------	-----	--------------	-----

アカデミー推進 計画における分野	6 分野別横断プロジェクト
---------------------	---------------

1 現状と課題・基本的な方向性

個々の事業を単独で行うことについても、集中して事業の内容を追求できるという利点があるが、ひとつのテーマに向けて、全分野が関連する部門を担当し、区民や関係団体等と協働して重点的に取り組んでいくことも、区民の豊かな生活への向上につなげる大切な視点である。関連分野が総合的に事業を進めることで、事業の魅力促進や対外的なPR効果等が大いに期待できる。

また、プロジェクトの担い手として、区民や各団体等に対して、積極的な周知やPR活動をするなど、事業のプロモーション活動をより充実させていくことが、今後の課題の一つとなっている。

2 事業実績

事業実績	取組状況結果資料ページ
(1) 森鷗外に親しむ—生誕150周年記念事業—	

3 数値事業例 (事務事業評価対象事業)

(番号)	対象事業名	指標達成度	基本的な方向	(再掲)
	該当なし			

4 分野別評価

- ・ 鷗外150年記念事業に関して、多様な部署・団体が連携し、ダイナミックな事業展開ができてきている点について評価できる。
- ・ 三元インターネット会議について、特定の場所に居合わせた人しか会議を観覧することができなかったのは、残念である。どの場所においても観覧できるように、開かれた環境を整えることが望ましい。
- ・ 各分野の横断的な事業を実施することで、これまで関心が薄かった分野に対する個人の関心を引き出し、その分野に対する新規参加者を増やすことができるのではないかと期待している。